

1. 発見日時	令和7年(2025年)9月2日(火)～3日(水)
2. 発生海域名	A: 標津漁港、B: 厚岸苦多沖、C: 厚岸仙鳳趾沖、D: 釧路三津浦沖、 E: 白糠漁港
3. 発生状況 (規模、形状等)	A、E: 港内の一部海面が着色 B: 図3の一部海域が着色 C: 図4の一部海域が着色 D: 図5の一部海域が着色 (水色)A: くらいきみのだいたい B: くらいき C: 不明 D、E: くらいあかみのだいたい
4. 優占種	プロロセントラム属渦鞭毛藻類 (単位はすべて細胞/ml) <i>Prorocentrum micans</i> (プロロセントラム・ミカンス) A: 23,000、B: 1,150、C: 260、D: 430、E: 870 <i>Prorocentrum gracile</i> (プロロセントラム・グラシレ) B: 570、C: 2,600、D: 270、E: 700 ※参考値 渦鞭毛藻 <i>Akashiwo sanguinea</i> (アカシオ・サンガイネア) E: 60 ラフィド藻 <i>Fibrocapsa japonica</i> (フィブロカプサ・ジャポニカ) C: 680、D: 30
5. その他	<i>Prorocentrum</i> 属渦鞭毛藻類は魚介類のへい死を直接引き起こす有害なプランクトンではない。ただし夏～秋の高水温期の赤潮は、死がいの分解等で一時的に海中の溶存酸素濃度を低下させる可能性がある。閉鎖性の強い内湾域で静穏な海況が継続する場合には注意が必要である。 <i>Prorocentrum</i> 属のいくつかの種は、摂餌を通して二枚貝を赤茶色に変色させる原因種として日本国内での報告があるため、二枚貝の漁場・養殖場では留意する必要がある。なお、着色した二枚貝を人が食しても人体に影響はな 根室、釧路振興局管内では、8月下旬以降 <i>Prorocentrum</i> 属を主体とする赤潮が広範囲で頻発している(図1)。ただし赤潮発生は港湾部などの局所的な着色が多い。根室、釧路振興局管内沿岸では、今後も風や潮汐によって、同様の赤潮が局所的に発生する可能性がある。

6. 参考図



図1 赤潮発生場所の位置 赤丸は9/2~3の *Prorocentrum* 赤潮発生地点。白四角は8/18~29の *Prorocentrum* 赤潮発生地点。

地理院地図 (国土地理院) <https://maps.gsi.go.jp/>を基に道作成



図2 赤潮発生場所 (A: 標津漁港)

地理院地図 (国土地理院) <https://maps.gsi.go.jp/>を基に道作成



図3 赤潮発生場所 (B: 厚岸苦多沖)

地理院地図 (国土地理院) <https://maps.gsi.go.jp/>を基に道作成



図4 赤潮発生場所 (C: 厚岸仙鳳趾沖)

地理院地図 (国土地理院) <https://maps.gsi.go.jp/>を基に道作成



図5 赤潮発生場所 (D: 釧路三津浦沖)

地理院地図 (国土地理院) <https://maps.gsi.go.jp/>を基に道作成



図6 赤潮発生場所 (E: 白糠漁港)

地理院地図 (国土地理院) <https://maps.gsi.go.jp/>を基に道作成

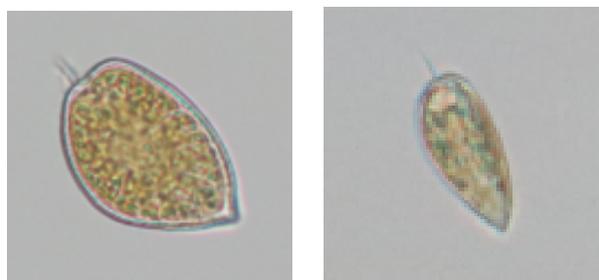


図7 *Prorocentrum micans* (左) と *Prorocentrum gracile* (右)